

2016 AUTOBACS SUPER GT Round 6 45th International SUZUKA 1000 km

2016年8月27日(土)~8月28日(日)

決勝 レポート

173 Laps



場所: 鈴鹿サーキット(三重県) 1周 5.807m

天候: 曇り・雨 / コース: ドライ・ウエット / 気温: 28℃ / 路温: 29℃ / 観客動員数: 34,000人

序盤のアクシデントを乗り越え今季初優勝

2016年 SUPER GT 第6戦の決勝が行われる鈴鹿サーキット(三重県)は、スタート直前まで雨が降り、タイヤ選択に悩む路面状況でのスタートとなった。

8月28日(日)

<決勝 173LAPS / 12:30~>

山内英輝はスタート直後1~2コーナーで#2ロータスをかわしスプーンでは#31プリウスもかわし2位にジャンプアップ、トップ#18 86を追う。25周目、1回目のピットインをし、タイヤ4本及び給油、山内から井口卓人に代わる。ピットアウト直後、S字で#0 GT-R に追突されスピン。大きく順位を下げ20位からの追い上げを強いられる。井口は必死の走りを見せ44周目にはポジションを6位まで上げる。53周目、2回目のピットイン、タイヤ2輪交換、給



www.rdsport.net

油で井口から山内に交代しピットアウト。80周目、3回目のピットインで再び井口に代わった直後に#2ロータスのクラッシュでセーフティーカーが入り、そのタイミングでトップとの差がいきなり縮まり、102周目を終えて首位まで上り詰める。108周目、4回目のピットイン。再びリア2本をみのタイヤ交換で井口から山内に代わる。4番手でコースに戻るが他車より1回多いピットを済ませているので事実上の首位のままである。133周目、5回目のピットインで井口に代わる。素早いピット作業でコースに戻り、147周目には完全なトップとなる。その後、雨が降り出すが、井口は冷静な走り続け二番手に10秒近くの差をつけ、チームに今季初優勝をもたらした。なお、GT500クラスの優勝は#38 ZENT CERUMO RC F が制した。



■本島監督 コメント



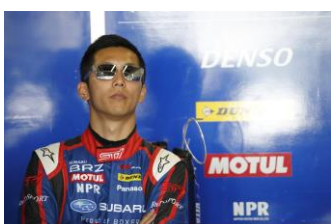
両選手もチームスタッフも素晴らしい仕事をしてくれました。運も味方してくれましたが、最後まで諦めず粘りで勝ち取った優勝だと思います。残り3戦、今以上に BRZ が持っているポテンシャルを引き出すためには何が必要か、今一度じっくりデータを見て結果につなげたいと思います。暑い中、最後まで応援してくださった多くファンの方々には大変感謝しております。トップを走る BRZ、表彰台の中央に立つ両選手を見て頂けて良かったです。本当に有難うございました。

■井口 卓人 コメント



皆さんの熱い応援があり、今季初優勝する事が出来ました。アクシデントやトラブルなど、決して簡単なレースではありませんでしたが、チーム一丸となり最後まで諦めずにプッシュし続ける事が出来ました。最後に雨が降ってきて、神様はどれだけ意地悪なんだ！と思いましたが、2位と大きなギャップもあったので、冷静にチェッカーまで車を運ぶ事ができました。苦しい時期でも応援し続けてくれたファンの皆さんには感謝しています。シリーズチャンピオン目指して頑張ります。

■山内 英輝 コメント



今回やっと優勝する事が出来て、本当に嬉しく思います。多くのスバルファンの皆さんや、チーム、井口選手、スバル関係者の皆様に本当に感謝しています。シリーズポイントもトップになり、後半戦も気を引き締めて頑張ります。応援よろしくお願いします。

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/>、
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/2016/sgt/> もご覧ください

2016年8月28日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net